

令和元年東日本台風では、全国各地で甚大な被害が発生したことを踏まえ、また泉川水系においても、平成20年8月豪雨において宅地の浸水被害が発生していることから、事前防災対策を進める必要があります、以下の取組みを実施し家屋浸水被害の解消を図る。



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

- 泉川では、県、市が一体となって以下の手順の「流域治水」を推進する。
 - 【短期】泉川下流部の市街地での重大災害の発生を未然に防ぐため河積確保を目的とした河道掘削等を実施。
 - 【中期】泉川下流部の堤防整備（JR橋梁部含む）を実施し、流域全体の安全度向上を図る。
 - 【中長期】泉川中上流部の浸水被害を防ぐため、堤防整備や河道掘削等を実施し、流域全体の安全度向上を図る。
- あわせて越水、溢水の頻発箇所へは、必要に応じて、水位計や監視カメラを設置し、WEB上への配信追加・周知などを行うことにより、避難判断に役立てる。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	泉川の河道掘削、堤防整備、橋梁架替等	富山県 氷見市	河道掘削による早期対応		
	森林整備・治山対策	富山県	堤防整備による安全度向上		
被害対象を減少させるための対策	立地適正化計画に基づく「安全なまちづくり」に向けた取組	氷見市			
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	災害リスクの現地表示、水害ハザードマップ及び洪水ハザードマップの周知、浸水実績の周知	富山県 高岡市 氷見市	必要に応じて、越水、溢水の頻発箇所への設置やWEB上への配信追加・周知など		
	水位計・監視カメラの活用	富山県			

【事業費（R4年度以降の残事業費）】

■ 河川対策
全体事業費 13.4億円※
河道掘削、堤防整備等

※県の河川整備計画の残事業費を記載



(様式:取組事例)

区 分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	実施機関	富山県
メニュー名	河川改修(河道掘削、堤防整備、橋梁架替)		
事業・施策の名称	河川改修(河道掘削、堤防整備、橋梁架替)		
実施場所	泉川		

【対策概要】

1. 事業概要

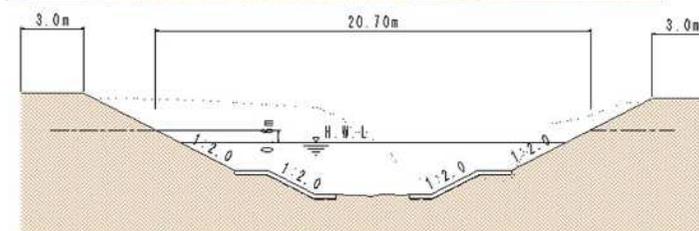
泉川は、河積が狭小なため浸水被害が発生しており、昭和51年の豪雨では床下浸水26戸の浸水被害が発生し、平成20年8月豪雨では上流部の堤防が決壊し、20haの被害が発生している。

平成26年2月には河川整備計画を策定し、河床掘削、築堤等の河川改修(1/10)を実施するとともに、下流部でボトルネックとなっているJR橋梁架替工事に着手し、浸水被害の解消を図る。

【事業内容】

事業期間：平成元年度～

内 容：計画延長2,270m(河道掘削、堤防整備、橋梁架替)



(様式:取組事例)

区 分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	実施機関	氷見市
メニュー名	河川改修(河道掘削)		
事業・施策の名称	河川改修(河道掘削)		
実施場所	泉川		

【対策概要】

1. 事業概要

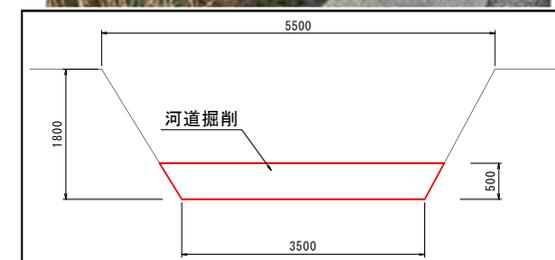
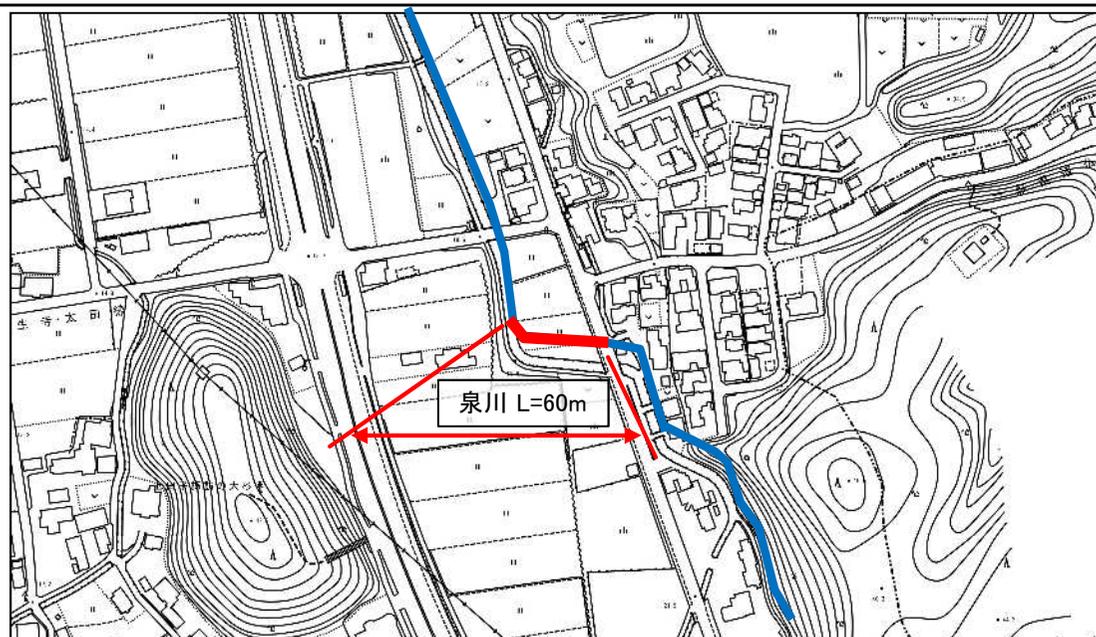
泉川は、河積が狭小なため浸水被害が発生しており、平成20年8月豪雨で上流部の堤防が決壊し、20haの被害が発生している。

県管理区間の河川改修事業（河道掘削、堤防整備、橋梁架替）の実施に併せて、市管理区間において河道掘削を行い浸水被害の解消に努める。

【事業内容】

事業期間：令和5年度～

内 容：計画延長60m（河道掘削）

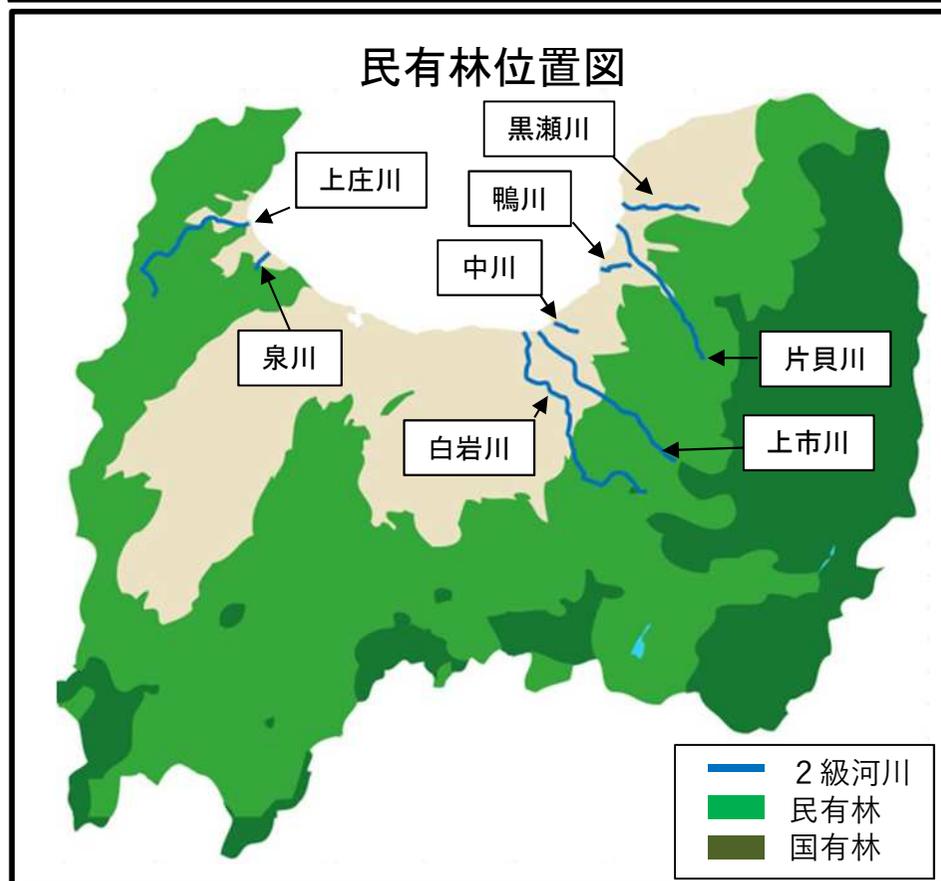


(様式: 取組事例)

区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	実施機関	富山県
メニュー名	森林整備・治山対策		
事業・施策の名称	森林整備・治山対策(間伐 治山工)民有林内		
実施場所	泉川流域		

【対策概要】

山地災害から住民の生命や財産を守るため、気象等が起因の山地災害により機能が低下した森林や溪流を対象に森林整備（間伐等）や治山施設の設置を併せて実施することにより、森林等の機能回復を図る。



森林の整備

間伐

(事例) 魚津市東城地内

治山施設の設置

流木捕捉式治山ダム

(事例) 南砺市大鋸屋地内

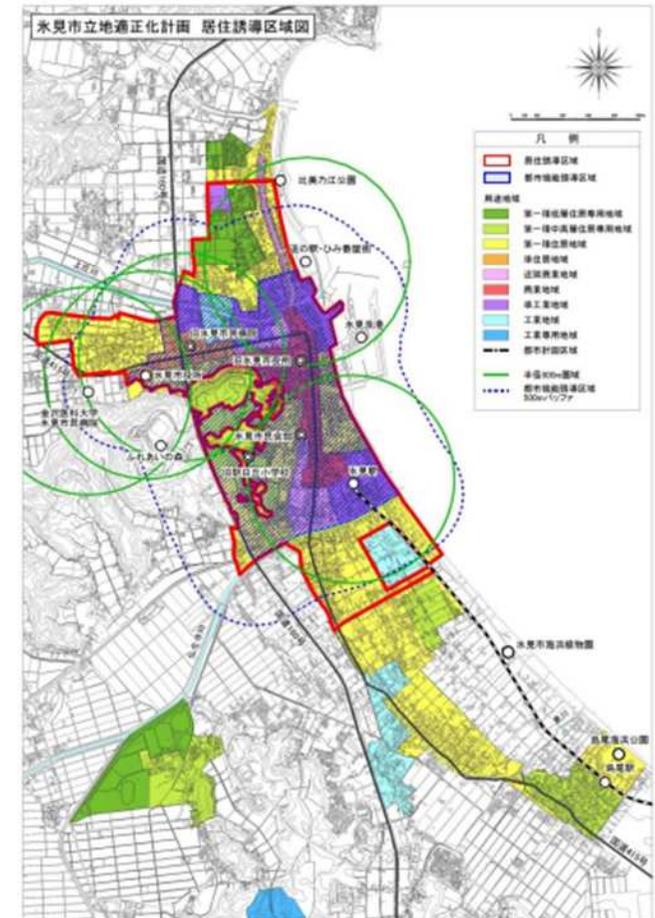
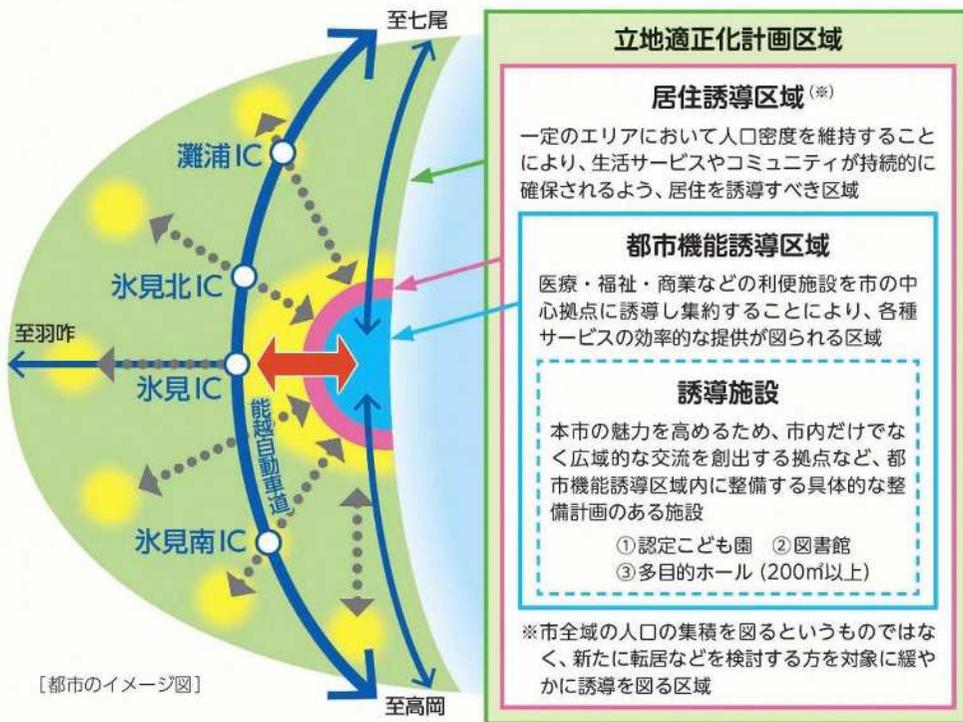


(様式:取組事例)

区 分	被害対象を減少させるための対策	実施機関	氷見市
メニュー名	立地適正化計画に基づく「安全なまちづくり」に向けた取組		
事業・施策の名称	立地適正化計画に基づく「安全なまちづくり」に向けた取組		
実施場所	泉川流域		

【対策概要】

立地適正化計画に基づいて、安全なまちづくりに向けた取組みなどを行っていく。

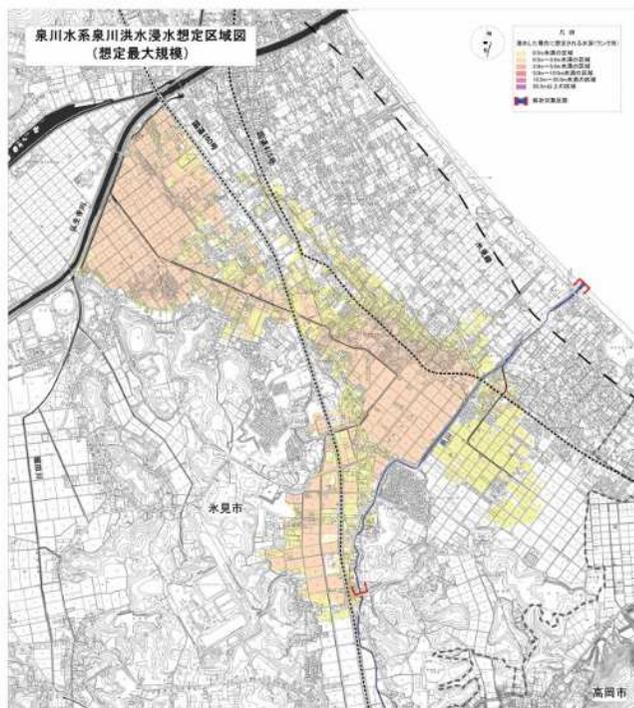


氷見市立地適正化計画 より

(様式:取組事例)

区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	実施機関	富山県、高岡市、氷見市
メニュー名	災害リスクの現地表示、水害ハザードマップ及び洪水ハザードマップの周知、浸水実績の周知		
事業・施策の名称	災害リスクの現地表示、水害ハザードマップ及び洪水ハザードマップの周知、浸水実績の周知		
実施場所	泉川流域		

令和元年6月14日に県内全ての水位周知河川(41河川)について、また泉川については令和元年6月25日に、想定しうる最大規模の降雨を対象とした洪水浸水想定区域図の公表が完了しました。それに基づき、増水し、堤防からあふれたり、堤防が壊れたりした場合の浸水情報や、避難に関する情報をわかりやすく提供するために、「水害ハザードマップ」(高岡市)及び「洪水ハザードマップ」(氷見市)を作成しています。



泉川浸水想定図(想定最大規模)

はじめに

この災害ハザードマップは、大雨により市内を流れる河川がはん濫した場合や、山沿いでけがれなどの土砂災害が発生した場合に、みなさんの「安全確保のための避難」や「危険回避」など自主的な行動を支援する事を目的に作成されたものです。みなさんの地域の「危険度」を認識し、災害発生時には迅速な避難行動や災害応急対応を行えるよう、日ごろから備えましょう。

洪水浸水想定区域

- 平成27年5月の改正に伴い、対象となる河川(阿尾川、仏堂寺川等)の最大規模の降雨(1,000年に一度程度の確率)を想定した新たな洪水浸水想定区域を示しています。
- 以前にみなさんに配布した「氷見市洪水避難地図(平成19年版作成)」に比べて、浸水範囲が広く、浸水深が深くなっている箇所が多いため、再度確認してください。
- その他の小川や水路などがあふれる内水はん濫などは考慮されていませんので、想定と異なる浸水深となる場合や、想定が示されていない区域においても浸水する場合があります。

河川名	想定雨量	河川名	想定雨量
阿尾川	24時間 813mm	上住川	24時間 781mm
阿尾川	24時間 813mm	仏堂寺川	6時間 351mm
赤川川	24時間 813mm	泉川	24時間 813mm

土砂災害警戒区域

- 土砂災害警戒区域は、平成13年4月に制定された「土砂災害防止法」に基づき、土砂災害の危険性のある区域について県が指定するものです。土砂災害から建物の生命を守るため、土砂災害のおそれのある区域についての危険の程度、警戒避難体制の整備、避難経路の確保、避難物資の備蓄など、ソフト面での対策を推進しようとするものです。
- 人家に影響を及ぼす区域を対象としてお示し指定されていない区域でも土砂災害が発生する可能性があります。

※浸水及び危険な箇所については、市が発行している「水害ハザードマップ」及び「洪水ハザードマップ」をご覧ください。

目次

表紙	はじめに	地誌
避難の心構え	マンツーマン目的別「目次」	洪水・土砂災害ハザードマップ
災害予防・避難活用情報1	マンツーマン目的別「目次」	指定緊急避難場所一覧
災害予防・避難活用情報2	マンツーマン目的別「目次」	避難経路
まとめ		

この冊子の地図に使用している地図情報は、発表日現在の5千分の1縮尺の図(1枚あたりA3)を縮小したものです。

家族で話し合っておく

洪水・土砂災害発生時にどこに避難し、どのように連絡を取り合うかな、事前に話し合っておきましょう。

防災訓練に参加しよう

氷見市や地域が行う防災訓練に積極的に参加し、ハザードマップを活用して避難経路などの危険箇所や避難場所を確認しておきましょう。

氷見市洪水ハザードマップ(想定最大規模)

(様式:取組事例)

区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	実施機関	富山県、高岡市、氷見市
メニュー名	要配慮者利用施設避難確保計画の作成及び支援		
事業・施策の名称	要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進		
実施場所	(対象:市町村地域防災計画で指定された要配慮者利用施設)		

高齢者福祉施設等の要配慮者利用施設における水害時の円滑かつ迅速な避難の確保を図るため、市町村が主催する施設管理者向け講習会への講師派遣等により、避難確保計画の作成や避難訓練の実施を支援するもの。

【取組実績】

- ・ 令和元年度：南砺市、入善町、黒部市にて講習会
- ・ 令和2年度：魚津市にて講習会
- ・ 令和3年度：富山市にて講習会
- ・ 令和4年度：富山市にて講習会
- ・ 県内の要配慮者利用施設1617施設中1269施設（78.5%）で計画を作成済み（R4.09.30時点）



講習会の様子 R4 富山市

様式1

4. 防災体制

【要配慮者利用施設管理者向け】

施設名	施設種別	避難計画の作成状況	避難訓練の実施状況
施設A (法人)	高齢者福祉施設	作成済	実施済
施設B (法人)	高齢者福祉施設	作成済	実施済
施設C (法人)	高齢者福祉施設	作成済	実施済
施設D (法人)	高齢者福祉施設	作成済	実施済
施設E (法人)	高齢者福祉施設	作成済	実施済
施設F (法人)	高齢者福祉施設	作成済	実施済
施設G (法人)	高齢者福祉施設	作成済	実施済
施設H (法人)	高齢者福祉施設	作成済	実施済
施設I (法人)	高齢者福祉施設	作成済	実施済
施設J (法人)	高齢者福祉施設	作成済	実施済

記載例

4. 防災体制

【要配慮者利用施設管理者向け】

施設名	施設種別	避難計画の作成状況	避難訓練の実施状況
施設A (法人)	高齢者福祉施設	作成済	実施済
施設B (法人)	高齢者福祉施設	作成済	実施済
施設C (法人)	高齢者福祉施設	作成済	実施済
施設D (法人)	高齢者福祉施設	作成済	実施済
施設E (法人)	高齢者福祉施設	作成済	実施済
施設F (法人)	高齢者福祉施設	作成済	実施済
施設G (法人)	高齢者福祉施設	作成済	実施済
施設H (法人)	高齢者福祉施設	作成済	実施済
施設I (法人)	高齢者福祉施設	作成済	実施済
施設J (法人)	高齢者福祉施設	作成済	実施済

簡易な計画ひな型 (国交省)